元教師で、現在、個人事業主をしている者です。（コロナにより休業中）

　９月入学問題で世の中が揺れているのを見て、意見を述べさせていただくことにしました。

　私は今のところ９月入学制に反対（今まで通り４月入学を支持）しています。

　その理由は下記の通りです。

①　コロナ禍に乗じ、重大案件を突貫工事でやるべきではない。実施にこぎつけるまでに、莫大なお金（税金）も手間もかかる。そのつけはブーメランのごとく国民に返ってくる。企画力・実行力に欠ける現政府を見る限り、大混乱は避けられず、結局、現場丸投げになってしまう。やるならば、しっかり準備を整えてからやるべき。

②　学年区分で、未就学児にあまりにも大きなしわ寄せが行く。人数が約1.4倍になるとともに、幼いのに同学年で１歳半近く年齢差のある学年ができる。４月入学を前提に子作り・子育てをされてみえた親御さんに、多大な不利益・不平等を被らせしまう。これらは弱い者ほどしっかり支えるべきという公教育の理念に反している。

③　後ろへずらすことで、他国と比べ、入学・卒業が１年遅れになってしまう。卒業が遅れることにより、学費が余分に必要となるし、就職も遅れる。この経済的負担・損失は大きい。

④　安易にグローバルスタンダードに従うこと、それは我が国の伝統と島国であるが故の長所を捨てることに他ならない。また、貧富の差が拡大した今、グローバル化を進めることは、海外の資本家に日本の資産が安く買われ、日本人が外国人の下で働く時代の到来を招きかねない。

⑤　コロナ等の感染症が再び流行した場合、長期休校の度に入学月を変更させるのか？この課題に対して、明確な対応案が示されていない。そもそも今回のコロナ禍によって入学月を移す国があるのだろうか？

⑥　地震、台風・大雨、大雪、猛暑等の起こりうる自然災害の影響度については、４月と９月で優位性に大きな差が認められるとは考えにくい。また感染症についても今後、温暖化により南方系のものが流行る可能性も考えられ、コロナやインフルだけが対象ではない。ならば、慣れ親しんだ「春が出会いと別れの季節」のまま、教科書の構成、企業の会計年度等もいじらないほうが合理的である。

⑦　休校により学習進度に遅れが生じ、理解度にも悪影響が出ているのは分かるが、それを、学習する権利を奪われたので、９月にするのが当然、と考えてはならない。休校でも学ぶ時間は与えられていたわけで…先ずは１人で学習できない子、学習内容が理解できず苦しんでいる子を何とかするという方向で、学校を中心に、今できることを早急に考え、実践していったほうが良い。

⑧　９月入学にしないと詰め込み教育になる、という声があるが、実際、詰め込み教育の好きな教師ほど９月入学を希望する傾向があると思われる。時間が確保でき、詰め込みしやすくなるので。学習が遅れた分については、低学年ならば、国語と算数中心のカリキュラムとし、詰め込みを防ぐ。中学年ならば、来年３月までに１年分を終えるのではなく、再来年の３月までに２年分を履修する。最終学年については、進学（入試）が迫っているので、学校、教育委員会、国が総力をあげ、卒業に向けて子どもをより重点的にサポートする。

⑨　学校行事や部活の大会の多くが中止になるだろうが、こればかりは仕方がない。９月に移したから、必ずできるというものでもないので。できないことを悔やむよりも、コロナの今年だからこそ！という行事を考えていった方が、建設的で良い。良き思い出として心に残ると思う。修学旅行ができなければ、大人になってから一緒に旅することを誓うのも一案と思う。

⑩　「新学期を９月にしてそれまでは休校が良い」と発言する知事が、コロナ感染の拡大した大都市圏に多い。私から見ると、自分のところだけ学校再開が遅れた時、市民からのつきあげを回避するため、他県を道連れにしているように感じる。同じく春に起きた東日本大震災の時、首都圏にも電気を供給していた福島第一が被害を受け、多くの子が学習の機会を奪われたが、首都圏の学校は休校したのだろうか？その過去を私たちは忘れてはならないと思う。

⑪　評論家の中に、現場を痛烈に批判したり、子どもからたくましさを奪う発言をしたり、要らぬ不安と偽りの安心を交互に提示し親を洗脳したりして人気取りに走る方がいる。９月入学を薦める評論家には、現状を憂い、制度を変えることが、自分の実績につながるという観念があるのかもしれないが、独断的で説得力に欠け、単なる暴走と感じる。

⑫　大学・高校については、義務教育外なので、学年や入学月について、柔軟に対応しやすいと思われる。（特に大学は）

したがって変えるならここを４月・９月両採用、個別選択制にするというのも案であると思う。そうすれば、入試、留学、就職への対応幅が広がるのでは？

　以上が、私の考えです。あくまで一個人の考えなので、おかしいところやお気に召さないところもあるかと思います。

人を説き伏せるのが目的ではなく、より大勢の方を幸せにしたいという思いから、あくまで私なりに中立の立場で論じておりますので、その点をご了承ください。

あと、もしも今年９月入学とならなかった場合、来年の３月に卒業される最終学年（特に中３と高３）の方が一番大きな損害を被る可能性があります。

これについては、できうる限り対策を取られますよう、現場に配慮を求めたいと思います。

特に、現在、家庭学習において、１人では学習できない子、学習内容が理解できず苦しんでいる子を何とかするという方向で、学校を中心に、今できることを早急に考え、実践していっていただけたら、と切に願います。

また、模試、資格試験、オープンキャンパス、会社訪問等、進学、就職に関わる重要案件につきましては、日程をずらしてでも極力実施いただきますよう、お願い申し上げます。